

～創立 49 年そして、コロナ禍を経た持続可能な上菅田へ～

本校は、今年開校 49 年。来年は大きな区切りとなる 50 周年を迎えます。開校宣言の「充実した教育の実践」を大切に、今年度学校教育目標を「自分らしく豊かに学び輝き生きる力を育てます。」として、今を生きる児童生徒が、豊かにキラキラと輝く学びを全教職員で考え、実践してまいります。

新型コロナウイルス感染症との日々も今年 5 月には、他の感染症と同じ 5 類となりました。この間、私たちは多くを失い同時に多くを得ました。「コロナ前に」ではなくコロナ禍を経た私たちだからこそできることがある。と考えます。

例えば、ICT を活用した授業は日常となり、様々な活用が進んでいます。また、今年全学部一斉の校内宿泊を行い、安心・安全を整えて修学旅行に取り組みます。一方、プールは、3 年以上稼働しなかったこともあり、劣化も更に進み、改修についての検討を始める必要性を感じています。

新型コロナウイルス感染症の日々が正にそうであったように、これからの予測不能な社会を生きる子どもたちを育む本校。「持続可能な開発目標 (SDGs)」が世界共通の目標とされ、「持続可能」は、様々な場面で大切なキーワードとなっています。本校も児童生徒数の減少、施設設備の老朽化等様々な課題に向き合い、「持続可能」をキーワードにたゆまない努力の日々を重ね、開校 50 年に向かってまいりたいと思います。

本校は、「かかわる力」「みつめる力」「とりくむ力」を核として一人ひとりの「くらす力」を育む教育活動を展開します。児童生徒一人ひとりが、自らの思いをもち、伝え、やってみようとする「かかわる・みつめる・とりくむ・くらす(か・み・と・く)」の力を育む教育活動は、ますます意義を深めていくと考えます。児童・生徒、保護者、本校にかかわる全ての皆さんの想いを優しく受け止め、共に考え、歩んでいくために、全教職員がベクトルを一つに合わせ取り組んでまいります。

今後とも、保護者の皆さま、地域の皆さまと手を携えて教育活動を充実させてまいりたいと存じます。どうぞ、よろしく願いいたします。

令和 5 年 4 月 1 日 村山 小百合